

# 3. vetOSCE (獣医学オスキー) の役割 と事業推進案

**第7回獣医学教育改革委員会**

**北川 均 (岐阜大学)**

9.15.2012 盛岡

# オスキー

(OSCE: Objective Structured Clinical Examination)

- 臨床実習を行うための基本的な臨床能力を確認する**実技**試験
- CBT (Computer Based Testing: 学力を問う試験)と対応する
- 国家試験(農林水産省が実施)ではない  
・・・各大学が主体となって実施する



# オスキー

(OSCE: Objective Structured Clinical Examination)

1975年英国で提唱

世界数十ヶ国で導入



日本

医・歯学：2001年よりトライアル  
2005年12月正式実施

薬学：2010年から実施

看護学：科研費（2008-2011）臨地実習生の質の確保のための看護系大学共用試験(CBT)の開発的研究

獣医学：準備中



# OSCE

## 医、歯、薬学OSCEの内容

医学：**医療面接**、胸部**診察**、呼吸音聴診、神経診察、救急、頭頸部診察、バイタルサイン等

歯学：**医療面接**、口腔内診査、診断、テンポラリー・クラウン作成、バイタルサイン等

薬学：**患者・来局者接遇**、各種薬剤調製、無菌操作等

**基本的内容：面接、身体検査、基本技術**

# vetOSCEの役割

学 年 進 行

導入実習

- 学内実施
- 外部依頼

基盤実習

- 実習室
- 全員参加

共用試験

参加型  
実習

- 臨床現場
- 全員参加
  - 基本的事項

アドバンス実習

- 臨床現場
- 選択
  - 高度獣医療

コアカリ(必修)

共用試験:参加型実習に参加する学生の  
獣医師法違反阻却要件  
⇒参加型実習開始前に実施

# vetOSCE (獣医学オスキー)

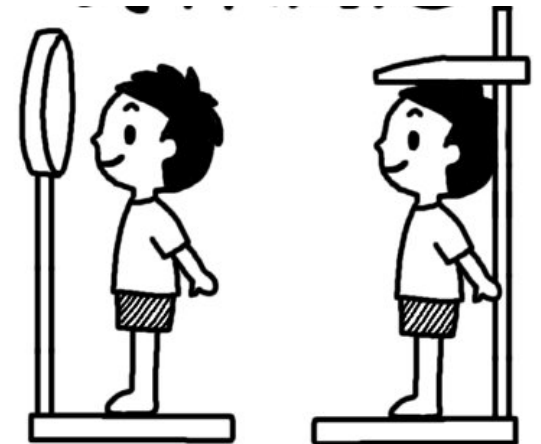
獣医の学生数・教員数を考慮する

身の丈に適合した内容

必要事項は実施

できるだけ簡便に

教員全員参加と事務方の支援



# vetOSCEの内容

コミュニケーションスキル

診療の基本的事項を確認する

○インタビュー(医療面接)の基本

動物⇔飼い主⇔獣医師のコミュニケーション

態度・服装、あいさつ、自己紹介、導入質問、基本的事項(飼い主との会話)

身体検査の前まで

⇒病気の診断(各論)を要求しない

○基本的診療技術

小動物(イヌ)、産業動物(ウシ)

身体検査、保定・採血、無菌操作、縫合など

# vetOSCE

検討中  
原案

4-5ステーションを想定  
(オプションでステーションを増やすことも可)

一つにできる?

面接

身体検査1

犬の身体検査  
保定・採血  
犬シミュレーター

身体検査2

牛の身体検査  
牛シミュレーター

無菌操作

ガウン・マスク  
手袋装着

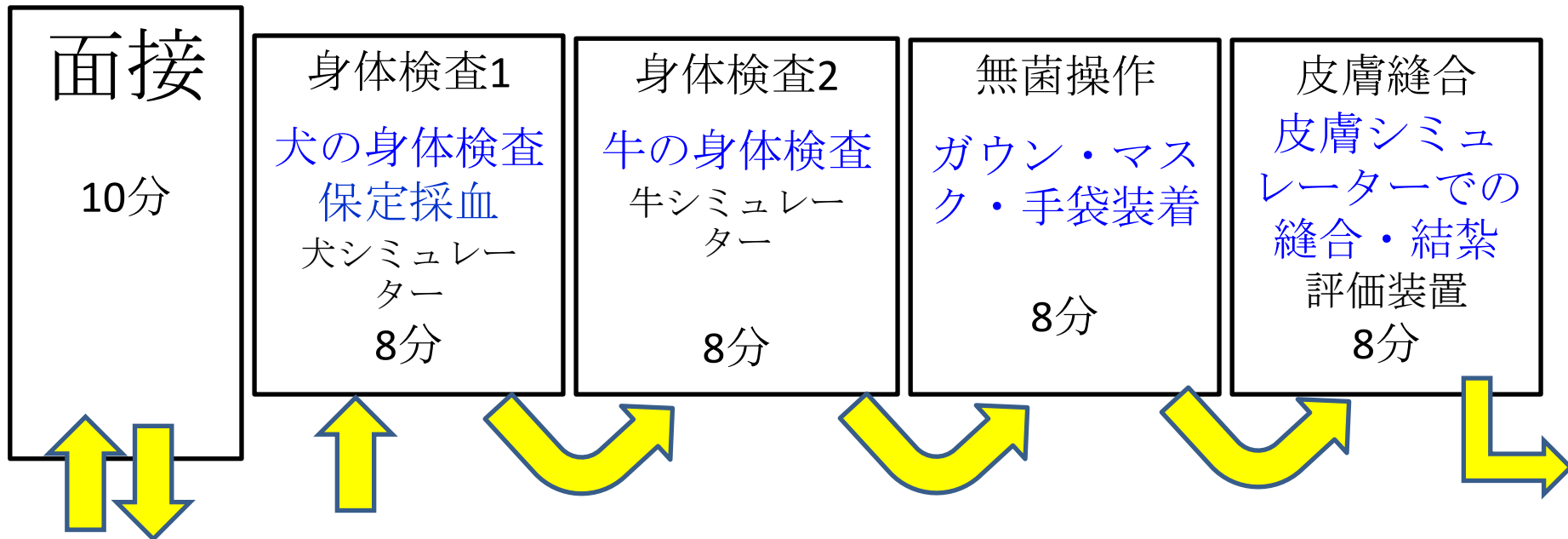
皮膚縫合

皮膚シミュ  
レーターでの  
縫合・結紮  
評価装置

内容は教育改革シンポジウムで



# vetOSCE 所要時間



学生40名として仮計算

面接:  $10分 \times 40名 = 400分$  (6時間40分)

実技:  $8分 \times 40名 + 8分 \times 4ステーション = 344分$   
(5時間44分)

複数レーンでも同じ所要時間

# 評価

## 面接

身体検査1

犬の身体検査  
保定採血

身体検査2

牛の身体検査

無菌操作

ガウン・マスク  
手袋装着

皮膚縫合

皮膚シミュ  
レーターでの  
縫合・結紮

評価者 臨床の教員である必要はない

面接ステーション: 内部1名、外部1名

他のステーション: 内部各1名、

4ステーション全体で外部1名

管理者・補助者が評価者を兼ねる・・・人員削減

# 評価

## 4 段階

- 4 (A) : 良い (良くできる)
- 3 (B) : 合格レベル (最低要求レベルより上)
- 2 (C) : 合格境界領域
- 1 (D) : 不合格

2 (C)が3つ以上あった

追試

# 準備1

各大学

## OSCE実施体制の整備

○実施担当者の選出

＝大学内OSCE実施委員会作成

まとめ役、面接担当、実技担当

共用試験実施機構との協議

○実施体制構築

○トライアル実施

# 準備2

## 医療面接

- 面接シナリオ作成
- 評価基準作成
- 担当者のトレーニング（意識調整）
- 模擬クライアント育成のお手伝い



準備委員会  
(実施機構)

# 準備3

各大学

## 医療面接

- 医療面接担当者＋大学の協力体制構築
- 学生のトレーニング（基盤実習で実施）  
＝コミュニケーションスキルtrainingの導入  
従来の実習の中で行う  
本格的なトレーニングは参加型実習で
- 模擬クライアント養成  
実習に参加＝OSCEもやっていただける

# 準備4

各大学

○身体検査・無菌操作などに関する事前実習  
内科学・外科学など基盤実習で実施  
+スキルスラボ設置(可能であれば)

○施設準備

動物病院診療室整備

パーティション設置など

○機材整備

シミュレーター

予算

# 準備5

## シミュレーター開発

京都科学(株)と共同開発中  
イヌ身体検査用シミュレーター  
ウシ身体検査用シミュレーター  
皮膚縫合評価装置⇒改良

準備委員会  
(実施機構)

予算

材質をもう少し  
柔らかく..



ヒト用シミュレーター  
を展示しています  
ご意見をお願いします



# 準備6

準備委員会  
実施機構

評価者養成

各課題の評価基準作成

講習会実施

評価者認定



pixta.jp - 2119335

予算

準備中

# 経費（今後の検討事項） 検討中

## 医学の例（参考）

実施機構

評価者研修

外部評価者派遣

評価結果 集計と配布

大学

ステーション設置（＋消耗品）

人件費（準備＋当日）

模擬クライアント養成

OSCEに向けた実習

# スケジュール

平成25 年度

後期 第1 回CBTトライアル(5 年生、数校希望者)

平成26 年度

2 月 第2 回CBTトライアル(5 年生、参加表明全校・希望者)

第1 回OSCEトライアル(5 年生、数校希望者)

平成27 年度(本格実施と同じスケジュール)

2 月 第3 回CBTトライアル(5年生、参加表明全校・希望者)

第2回OSCEトライアル(5 年生、参加表明全校希望者)

平成28 年度(本格実施)

2 月 第1 回共用試験(4 年生、参加表明校・全員)

終わりに

共用試験 = 必要なこと

やるしかありません

皆様のご協力をお願いします。